

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画と記録の整合性を明確にする取り組みが必要	全職員が介護記録の役割を理解し介護計画に沿った記録ができるようになる	<ul style="list-style-type: none"> 介護記録ソフトに介護計画のサービス内容の標題と同じ項目名を登録して使用する 全職員が介護記録の役割と書き方を理解できるように研修やマニュアル整備を行う 実際の記録を確認し、個別に教育を行う 	6ヶ月
2	35	コロナ感染防止対策下で、災害時の実践的な避難訓練が実施できていない。全職員が避難方法や対応方法を身に付けるための訓練実施が必要	災害時に職員が、慌てることなく落ち着いて避難誘導や対応ができる方法を身に付ける	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者一人ひとりの誘導方法をユニット会議で話し合い決定する 災害時避難誘導マニュアルを作成する マニュアルに沿った災害時の避難訓練を実施する 	9ヶ月
3	2・3	コロナ感染防止対策下で、外出支援を自粛している。感染対策が緩和されれば、コロナ禍以前の地域とのつながりを深める取り組みが必要	ご利用者が地域の一員として暮らしで行けるように地域とのつながりを深める活動を支援するとともに、地域にグループホームロココを知って頂くための活動を行う	<ul style="list-style-type: none"> 地域の集いやイベントにご利用者と参加する ご家族様と外出の機会をつくってもらえるように働きかけ、支援していく 職員が認知症キャラバンメイトや認知症サポーターの研修に参加し、地域で活動していく 	9ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。